

平成28年度 4月号



新座市立第二中学校
新座市野火止 7-17-10
電話 048-477-1212

新座二中だより

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daini/>

「いまやらねば いつできる」と生徒が挑戦する一年にします

校長 田村 和昭

「初心忘るべからず」

時として、「初心」は忘れてしまいがちになりますが、この「初心」を貫けるかどうかは、これからの人生に大きく影響していきます。この「初心」を忘れないことが、勉強でも、学校行事でも、部活動でも、そして人間としての成長にとっても前進するコツではないでしょうか。そのために、「今年は、こんな一年にしたい」「今年は、こんなことに挑戦してみたい」などと具体的な目標をもち、前向きな気持ちになって毎日の生活を送って欲しいと考えています。

もっとも素直な気持ちになる入学・進級という区切りの時に、目標をもちその実現に向けしっかりと歩いて欲しいと強く思っています。

さて、ここで教職員のミッションである第二中学校の学校教育目標を紹介します。

「明朗 向上 自主・自立」

校訓 まごころ
学校像 真理を胸に刻む学校
ともに夢を語る学校

…ご理解ご協力をお願いいたします。

「いまやらねば いつできる」

「わしがやらねば たれがやる」

「いまやらねば いつできる わしがやらねば たれがやる」という名言があります。

岡山県に生まれた近代日本を代表する彫刻家 平櫛 田中 が愛した言葉です。

平櫛 田中は107歳でその生涯を閉じ

校訓 まごころ 学校像 真理を胸に刻む学校 ともに夢を語る学校

るまで、衰えることのない制作意欲をもっていました。というのは、死の直前まで創作を続け、亡くなった後の仕事場にはなんと30年以上続けて制作できるだけの彫刻用の材木があったということです。



また、田中は「転生」という作品を残しています。腑抜けた人間を食べた鬼が、そのまずさに思わず吐き出している像なのですが、これは生ぬるい仕事やいい加減な勉強をするなど戒める思いを込めて制作したものとされています。

田中は、「人間は思ったら直ちに実行せねばいけない。考えただけではやったことにもならず、消えてしまうものである。『いまやらねば、いつできる』ですよ。そして、『わしがやらねば、たれがやる』と自分で覚悟すること。これが人間の努力を確実にするものですよ」と語っています。

「いまやらねば いつできる わしがやらねば たれがやる」の心意気で、生徒一人一人が自らの目標に挑戦する一年にしてまいります。